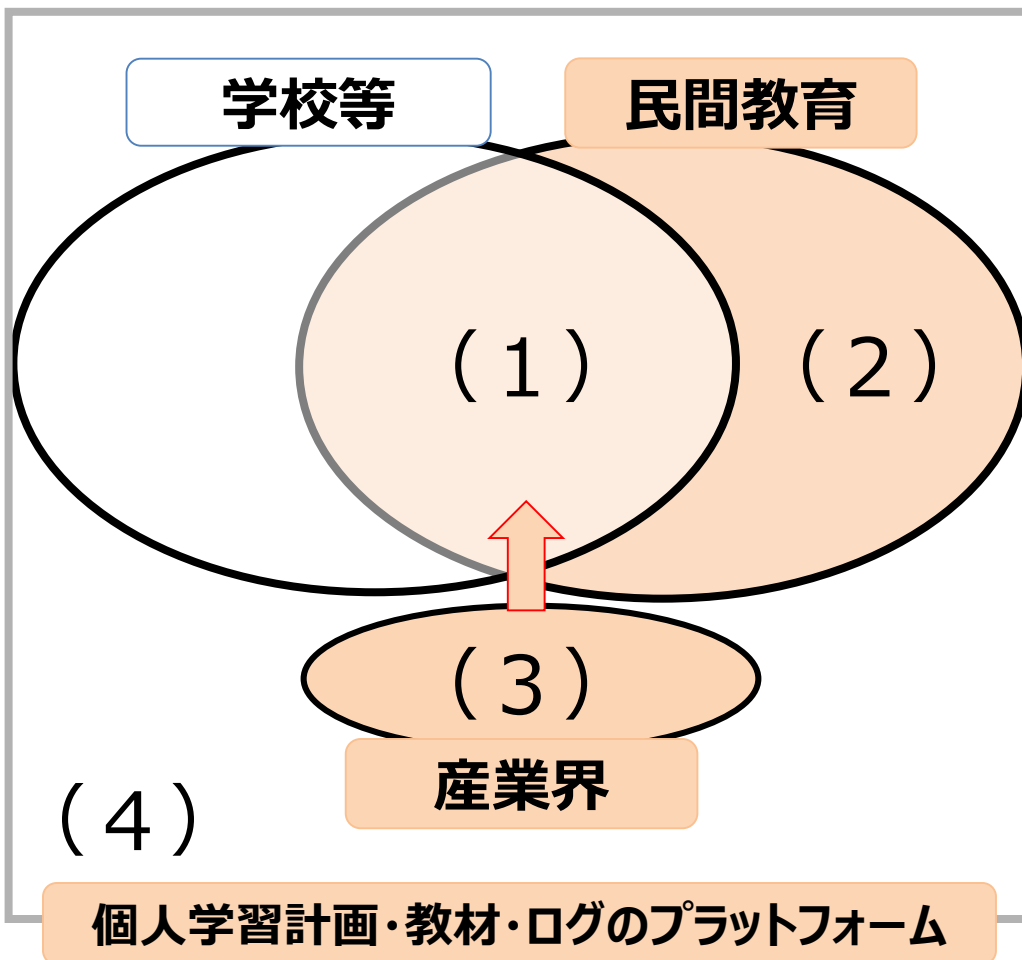


- (1) 学校等（小中高・認定こども園・認可保育所・幼稚園）と民間教育の協調による新しい学びの環境整備
- (2) 民間教育業界のイノベーション創出や事業再編
- (3) 産業界による教育参画の推進
- (4) 個人学習計画・教材・ログのプラットフォームが相互運用性等の担保・確立

本日議論



(1) 学校等と民間教育の協調による学びの環境整備

- ① 学校等BPR（小中学校・保育所・幼稚園・こども園における現場カイゼン調査）の推進
- ② 学校等のICTインフラの整備（調達構造問題）
- ③ 学校等へのEdTech導入による学び方改革・働き方改革の推進
- ④ 学校における個別最適化学習とSTEAM学習を可能にするカリキュラム・マネジメントの推進

(2) 民間教育業界での新サービス創出や事業再編

- ① 様々な民間教育（学習塾・EdTechサービス・STEM教室・探究教室・音楽教室・スポーツクラブ・フリースクール等）の新サービス創出や事業再編
- ② 海外民間教育との提携による新サービス創出

(3) 産業界による教育参画

- ① STEAM/プログラミング学習のテーマ提供・人材・資金等の協力

(4) 個人学習計画・教材・ログのプラットフォーム

- ① 相互運用性とポータビリティの確保

御議論いただく際の視点

議題①：学校等BPR調査の報告とEdTechを用いた解決策の提案について

- 9箇所の中学校・小学校・こども園・保育所・幼稚園から抽出された業務改善の視点として、表層課題と真因課題の関係はこれでよいか。欠けている検討ポイントはあるか。
- EdTech等を活用した「打ち手」イメージはこうした姿でよいか。
- 企業におけるICT投資でも、こうした業務の棚卸しを伴わない場合は効果に限界があると言われる。この調査をたたき台に、学校現場へのICT投資の際にこうした棚卸しを進めることが必要ではないか。全国の学校現場で業務棚卸しを簡易に行う仕掛けは考えうるか（たとえばICT/EdTech企業が提供するサービス）。

議題②：学校のICT化に向けた調達構造等の課題について

- 平井様のプレゼン、事務局からの海外事例（米国政府等）報告を踏まえ、教育委員会や学校が必要十分な機能を廉価に調達しうるための課題は何か。ICT調達構造の改革のために取り組むべき事項は何か。今後文科省・経産省・総務省で進める対策として留意すべき点は何か。
- 議題①と関連して、全国の学校教育現場に向けて、業務棚卸・ICT投資・調達改革を一体的に結びつけて発信する仕掛けは何か。

議題③：「未来の教室」実証事業への学習科学的評価について

- 益川委員のプレゼンによる問いかけ（個々の実証事業群が立脚する学習理論や教育観）を踏まえ、あらためて今後の「未来の教室」実証事業の方向性を、新学習指導要領の解釈を含めどう考えるか。